

高松市学校施設長寿命化計画 概要版



高松市立栗林小学校

平成30年5月
高松市教育委員会

計画の位置付け等

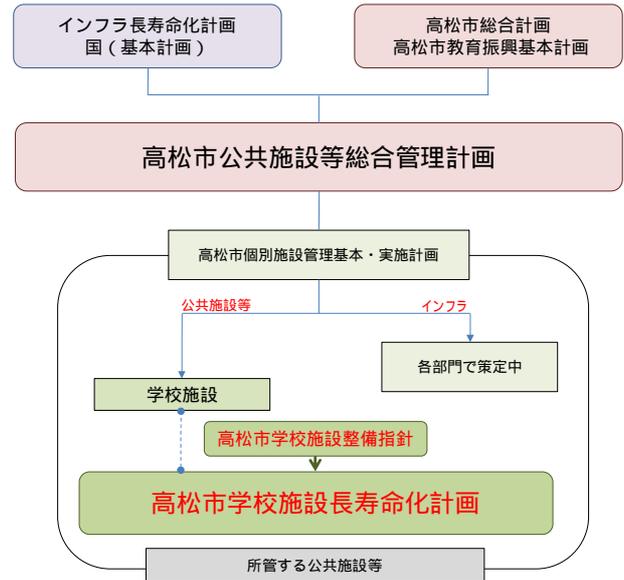
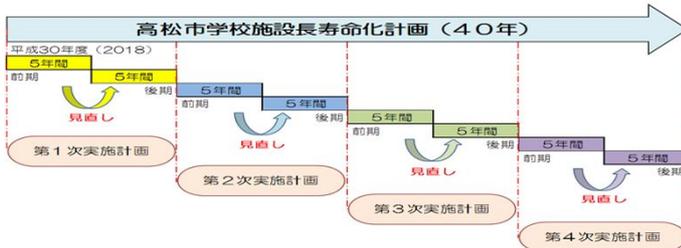
1 計画の位置付けと目的

本市では、公共施設やインフラ全体における、整備の基本的な方針として「高松市公共施設等総合管理計画」を策定しており、本計画は、その個別施設計画と位置付けるものです。

今後、学校施設が一斉に大規模改修や更新期を迎えるため、計画的に施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と平準化を図り、部位別や学校別の整備の方向性を整理し、30年度から5年間の具体的な整備計画の策定と、40年間の概算事業費の試算をすることを目的とするものです。

2 計画期間

平成30(2018)年度から2057年度までの40年間、具体的な整備計画は5年間とし、原則5年ごとに見直しを行います。



3 学校施設の保有状況と計画の対象施設

計画対象施設 70施設 246棟 468,676㎡

施設	棟数		床面積(㎡)		1棟当たり面積(㎡)
小学校 (47校)	校舎	100棟	247,744	52.9%	2,477.44
	屋内運動場	47棟	46,529	9.9%	989.98
	給食場	4棟	1,022	0.2%	255.5
中学校 (23校)	校舎	57棟	132,778	28.3%	2,329.44
	屋内運動場	25棟	35,477	7.5%	1,419.08
	柔剣道場	12棟	4,872	1.1%	406
	給食場	1棟	254	0.1%	254
総計	70施設	246棟	468,676	100%	1,905.19

老朽化状況の把握

老朽化状況は、躯体(柱や梁、床板等)の健全性と、躯体以外(窓や壁の下地・仕上げ、設備など)の劣化状況の2つに分けて把握・評価します。

1 躯体の健全性

建築物は、躯体の健全性が確保されて初めて、長期間使用することができますが、施工時の状況やその後の使用状況、立地環境によって使用できる年数が異なります。長寿命化の実施方針を立てるには、棟ごとに構造躯体の健全性を評価する必要があります。

本市では、築年数に応じて2つの調査方法を採用します。

耐力度調査

建築後、50年を経過した棟及び近接する50年未満の棟(概ね200㎡以下の小規模建物を除く。)を対象とし、小学校15棟、中学校14棟を調査



耐力度の評価

建物の構造耐力、建築時から調査時までの経年による耐力低下を評価する保存度、自然立地条件が建物の耐力に与える影響を調べる外力条件の3項目を総合的に調べ、耐力度を総合的に点数化

簡易調査

建築後、37～49年を経過した棟(旧耐震基準)のうち、直近5年間の具体的な計画を策定するために必要な建築後44～49年経過した棟、小学校21棟、中学校12棟を調査



簡易評価

耐震診断報告書における構造躯体データのうち、コンクリート中性化深さとコンクリート圧縮強度のデータを用いて評価。評価結果は、期待できる耐用年数(築後年数)として、「80年以上」「80～60年」「60年未満」の3区分で取りまとめ

耐力度調査の結果

対象棟全数29棟のうち、文部科学省が示す改築の基準となる点数以下と判定された棟が17棟、基準点を超えると判定された棟が12棟となっています。

	学校名	建物名	建築年	経過年数	階数	床面積(m ²)	耐力度の結果	備考
1	亀阜小学校	校舎	S42	51	3	2,459	基準点以下	過半部分
2	亀阜小学校	校舎	S50	43	4	4,041	基準点以下	
3	亀阜小学校	屋内運動場	S36	57	2	950	基準点を超える	
4	花園小学校	屋内運動場	S37	56	2	770	基準点以下	
5	鶴尾小学校	校舎	S37	56	3	2,414	基準点以下	
6	太田小学校	校舎	S41	52	4	2,218	基準点以下	
7	太田小学校	校舎	S45	48	3	1,974	基準点を超える	
8	太田小学校	校舎	S47	46	3	1,928	基準点を超える	過半部分
9	屋島小学校	校舎	S31	62	1	128	-	小規模のため調査対象外
10	植田小学校	校舎	S40	53	2	899	基準点を超える	
11	牟礼小学校	校舎	S39	54	1	168	-	小規模のため調査対象外
12	牟礼小学校	校舎	S48	45	3	2,125	基準点を超える	
13	牟礼小学校	校舎	S41	52	3	1,262	基準点を超える	
14	庵治小学校	屋内運動場	S34	59	2	1,176	基準点以下	上部鉄骨部は基準点を超える
15	香南小学校	校舎	S40	53	2	1,142	基準点以下	
16	香南小学校	校舎	S41	52	2	1,223	基準点以下	
17	香南小学校	屋内運動場	S43	50	1	727	基準点以下	
1	桜町中学校	屋内運動場	S39	54	2	1,077	基準点以下	
2	玉藻中学校	校舎	S54	39	3・4	4,012	基準点以下	過半部分
3	玉藻中学校	校舎	S38	55	3	648	基準点以下	
4	玉藻中学校	校舎	S47	46	3	3,352	基準点以下	
5	玉藻中学校	屋内運動場	S35	58	2	812	基準点以下	
6	協和中学校	屋内運動場	S39	54	2	909	基準点を超える	
7	香東中学校	校舎	S43	50	3	2,822	基準点以下	過半部分
8	香東中学校	校舎	S42	51	3	1,074	基準点以下	
9	香東中学校	校舎	S54	39	3	1,392	基準点以下	過半部分
10	香東中学校	校舎	S43	50	1	218	-	小規模のため調査対象外
11	香東中学校	屋内運動場	S46	47	1	1,073	基準点を超える	
12	香川第一中学校	校舎	S36	57	3	1,816	基準点を超える	
13	香川第一中学校	校舎	S37	56	3	2,608	基準点を超える	
14	国分寺中学校	校舎	S38	55	4	2,700	基準点を超える	過半部分
15	国分寺中学校	屋内運動場	S39	54	2	873	基準点を超える	

簡易調査の評価結果

33棟(小学校21棟、中学校12棟)のうち、80年以上の長寿命化が可能な棟が33棟、耐用年数が60～80年と判断される棟、また、60年未満と判定された棟は無となっています。

小学校

番号	施設名	建物名	建築年度	コンクリート強度(N/mm ²)		中性化深さ評価		評価		
				調査箇所	診断時の強度	中性化深さ(mm)	理論式による深さ(mm)	期待できる築年数(3区分)	築後年数(2018基準)	残耐用年数
1	花園小学校	校舎	S47	18	26.7	20.9	25.28	80以上	46	34
2	木太小学校	校舎	S44	24	28.6	8.0	26.09	80以上	49	31
3	木太小学校	校舎	S47	20	18.7	22.5	25.28	80以上	46	34
4	古高松小学校	校舎	S47	8	22.7	7.3	25.28	80以上	46	34
5	屋島小学校	校舎	S48	17	27.6	10.0	25.00	80以上	45	35
6	林小学校	校舎	S49	21	31.9	4.5	24.72	80以上	44	36
7	三溪小学校	屋内運動場	S48	4	33.9	22.0	25.00	80以上	45	35
8	一宮小学校	校舎	S47	13	26.5	7.3	25.28	80以上	46	34
9	多肥小学校	校舎	S49	15	23.4	9.3	24.72	80以上	44	36
10	円座小学校	屋内運動場	S49	4	27.1	10.2	24.72	80以上	44	36
11	植田小学校	屋内運動場	S44	3	26.5	5.0	26.09	80以上	49	31
12	中央小学校	校舎	S49	16	30.1	4.0	24.72	80以上	44	36
13	中央小学校	屋内運動場	S49	4	29.7	14.2	24.72	80以上	44	36
14	庵治小学校	校舎	S49	9	26.8	19.3	24.72	80以上	44	36
15	庵治小学校	校舎	S49	6	30.2	12.3	24.72	80以上	44	36
16	庵治小学校	校舎	S49	9	27.0	4.2	24.72	80以上	44	36
17	大野小学校	校舎	S46	17	25.1	5.8	25.55	80以上	47	33
18	大野小学校	校舎	S46	9	22.4	1.6	25.55	80以上	47	33
19	浅野小学校	校舎	S46	8	22.7	6.0	25.55	80以上	47	33
20	浅野小学校	校舎	S47	9	21.4	10.7	25.28	80以上	46	34
21	浅野小学校	校舎	S47	3	23.0	2.2	25.28	80以上	46	34

中学校

番号	施設名	建物名	建築年度	コンクリート強度(N/mm ²)		中性化深さ評価		評価		
				調査箇所	診断時の強度	中性化深さ	理論式による深さ	期待できる築年数(3区分)	築後年数(2018基準)	残耐用年数
1	桜町中学校	校舎	S48	23	21.2	22.1	25.00	80以上	45	35
2	桜町中学校	校舎	S49	18	27.57	23.1	24.72	80以上	44	36
3	牟礼中学校	校舎	S45	9	19.8	8.5	25.82	80以上	48	32
4	一宮中学校	校舎	S45	9	20.2	4.2	26.09	80以上	49	31
5	牟礼中学校	校舎	S46	-	-	-	-	-	小規模のため調査対象外	
6	牟礼中学校	校舎	S45	12	20.2	15.2	25.28	80以上	46	34
7	牟礼中学校	校舎	S45	6	19.0	19.0	25.00	80以上	45	35
8	庵治中学校	校舎	S48	9	31.4	12.9	24.72	80以上	44	36
9	庵治中学校	校舎	S48	9	30.4	12.5	25.00	80以上	45	35
10	勝賀中学校	屋内運動場	S44	9	20.9	14.3	26.09	80以上	49	31
11	龍雲中学校	屋内運動場	S45	3	29.2	16.7	25.82	80以上	48	32
12	庵治中学校	屋内運動場	S45	4	27.4	22.3	25.82	80以上	48	32
13	牟礼中学校	屋内運動場	S46	3	19.8	9.3	25.55	80以上	47	33

2 躯体以外の劣化状況

建築後10年以上の施設を対象とし、「学校施設営繕調書」から劣化の進んでいる部位を把握した上で、建築士等による現地調査を実施します。

(1) 現地調査対象

- 屋根・屋上、外壁調査
- 建築調査(内部仕上げ)
- 設備調査(電気設備、機械設備)

(2) 劣化状況の評価方法

劣化状況は目視により、以下の判断基準に照らし、A～Dの4段階で評価します。

また、内部及び設備の劣化度については、目視だけでは判断できないため、経過年数から評価します。

屋根・屋上、外壁の評価方法
目視調査は、以下の基準で評価

内部仕上げ、電気設備、機械設備の評価方法
目視調査を含め経過年数を基本に以下の基準で評価

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	経過年数に関わらずに著しい劣化事象がある場合

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

部位別劣化状況(例示)

築後年数	評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
築後 40年以上	<p>校舎屋上のC、D評価は24%を占め、保護コンクリートの劣化、防水シートの劣化による破れ、陥凹が多発見られ、膨下への雨漏れが認められる。</p> <p>A、B評価の学校について、以前に防水改修が実施されたとされる学校が多く含まれる。</p>	<p>浅野小 校舎①(築後47年)</p> <p>・防水シートの劣化、破れが全面に見られる。</p>	<p>大野小 校舎①(築後46年)</p> <p>・防水シートの破れが見られる。</p>	<p>香南小 校舎①(築後53年)</p>	<p>大野小 校舎③(築後42年) [改修1年]</p>

小・中学校(校舎棟)(例示)

劣化状況調査の結果

今後の整備方法を検討する上で、現地調査を実施した施設の調査結果を建築年数に応じて棟ごとに示します。

経過年数	建築年度	築年数	施設名	建物名	延床面積(m ²)	屋根上	外壁	仕内上部	設備備気	設備備械	健全度(100点満点)
50年-	S31	62	屋島小学校	校舎	128	B	B	C	C	C	58
	S34	59	香川第一中学校	校舎	1,816	A	A	C	C	C	62
	S37	56	鶴尾小学校	校舎	2,414	C	B	C	C	C	50
	S37	56	香川第一中学校	校舎	2,608	C	B	C	C	C	50
	S38	55	玉藻中学校	校舎	648	B	B	C	C	C	53
	S38	55	国分寺中学校	校舎	2,700	C	D	D	C	C	20
	S39	54	牟礼小学校	校舎	168	B	B	C	C	C	58

劣化状況のまとめ

劣化状況については、建物を長く使用していく上で重要な部位である屋上・屋根と外壁についてまとめています。

その結果、これらの部位については、継続的に改修を行っているものの、築30年以上の建物に、安全上、機能上低下の兆しが見られるC評価、早急に対応する必要のあるD評価が多く発生しています。

校舎では屋上の保護コンクリートの劣化、防水シートの破れ、外壁では塗装の剥がれ、クラック等が発生しています。

また、屋内運動場では金属屋根のさび、外壁の剥落、爆裂等が発生しています。これらは、さらに劣化が進むと躯体に影響するため、今後とも計画的な対策が必要です。

【校舎棟】 屋根・屋上						
	築後50年～	築後40～49年	築後30～39年	築後20～29年	築後10～19年	合計
A	2	11	15	0	0	28
B	10	27	39	2	3	81
C	4	9	9	1	1	24
D	0	3	2	1	0	6
計	16	50	65	4	4	139

【校舎棟】 外壁						
	築後50年～	築後40～49年	築後30～39年	築後20～29年	築後10～19年	合計
A	3	10	7	0	0	20
B	11	27	42	3	4	87
C	1	12	13	1	0	27
D	1	1	3	0	0	5
計	16	50	65	4	4	139

【屋内運動場】 屋根・屋上						
	築後50年～	築後40～49年	築後30～39年	築後20～29年	築後10～19年	合計
A	1	2	0	0	1	4
B	6	9	17	1	1	34
C	0	11	8	0	0	19
D	1	2	0	0	0	3
計	8	24	25	1	2	60

【屋内運動場】 外壁						
	築後50年～	築後40～49年	築後30～39年	築後20～29年	築後10～19年	合計
A	0	1	1	0	1	3
B	6	11	15	1	1	34
C	2	7	9	0	0	18
D	0	5	0	0	0	5
計	8	24	25	1	2	60

整備基準の設定

学校施設の長寿命化への転換に当たり、その具現化を図るため、整備基準(目標耐用年数、修繕・改修周期、整備水準)を設定します。

1 目標耐用年数の設定

(1) 躯体の目標耐用年数の設定

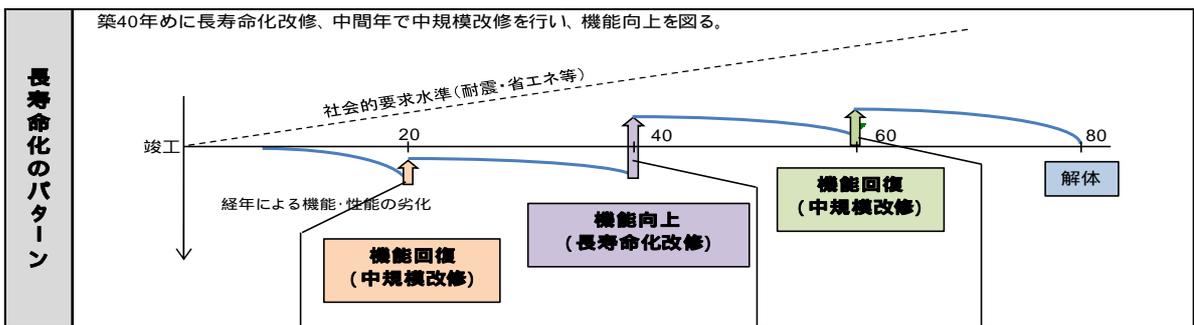
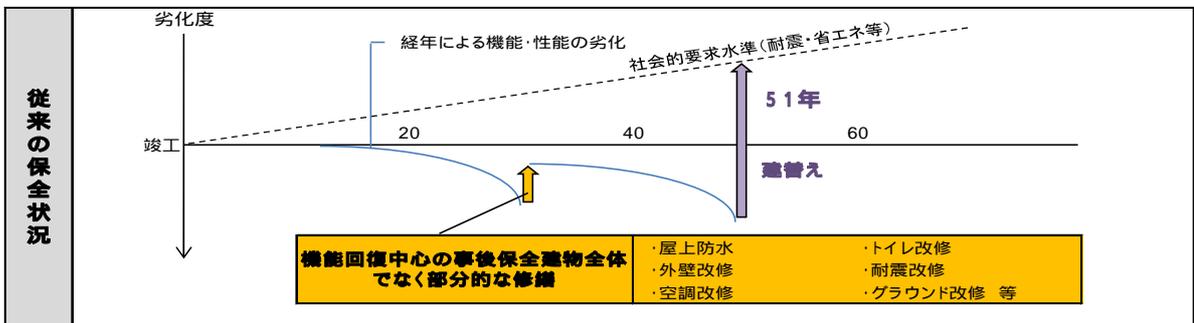
本市の学校施設は、平均51年目で建替え



鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 80年

「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)を参考に

(2) 長寿命化の修繕・改修周期



築20年目 中規模改修
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・内部改修(床・壁・天井) ・設備機器更新 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕

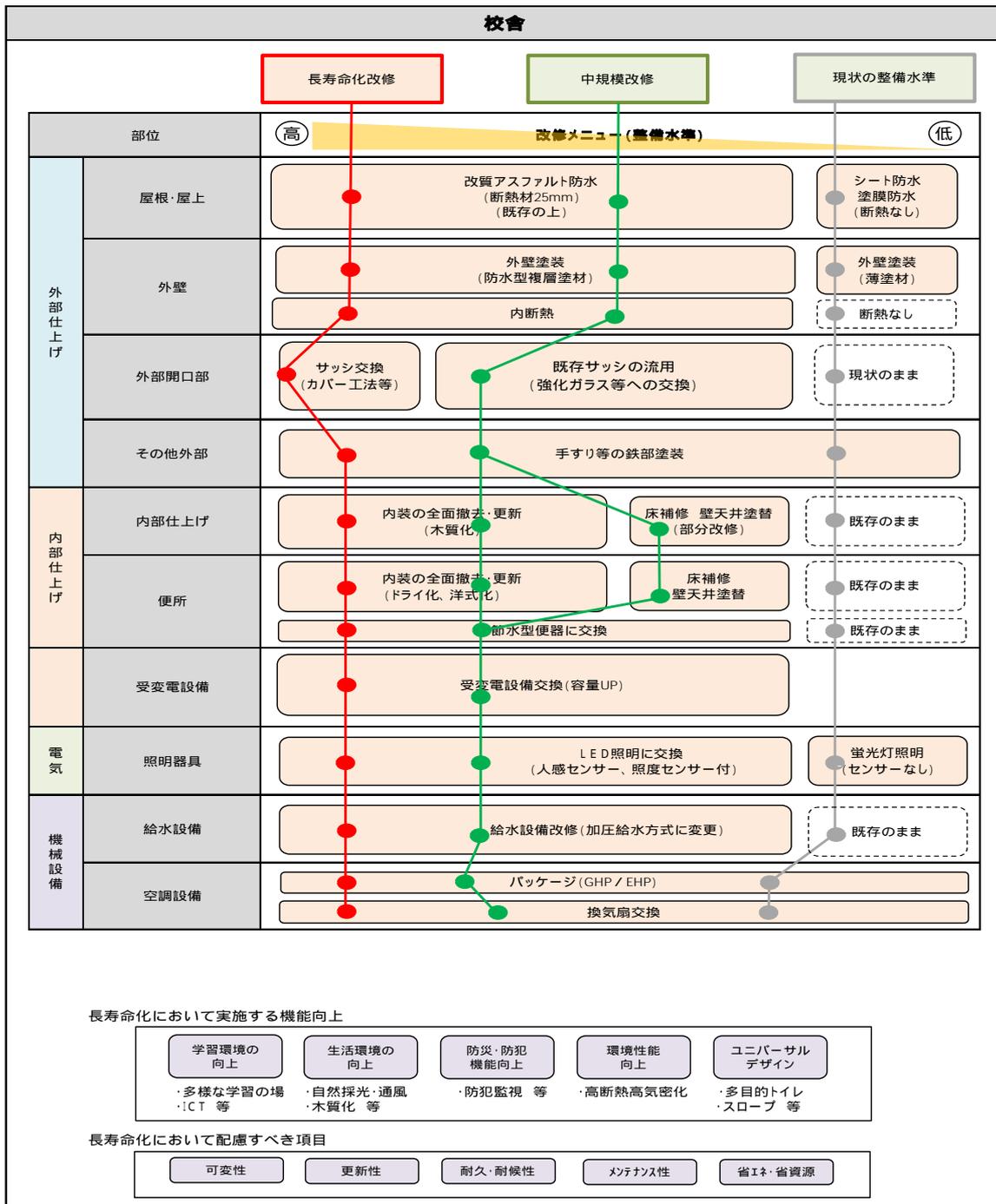
築40年目 長寿命化改修
経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能向上工事
<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート中性化対策 ・鉄筋腐食対策 ・屋上防水改修(断熱化) ・外壁改修(防水型) ・内部改修(床・壁・天井) ・設備改修 ・開口部改修 ・設備改修 等

築60年目 中規模改修
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・内部改修(床・壁・天井) ・設備機器更新 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕

2 整備水準の設定

長寿命化改修、中規模改修時の整備水準について、増築した林小学校等の整備内容を基に、部位別に整理します。これにより、将来の社会的要求水準の高まりへの対応、建物の整備水準の統一を図るものです。

【校舎の例示】



計画の策定及び運用方針

躯体の健全性及び躯体以外の劣化状況の調査結果並びに整備基準(目標耐用年数、修繕・改修周期、整備水準)に基づき、学校施設の整備の方向性及びコストを設定し、計画を策定します。

1 整備の方向性の設定

施設の長寿命化への転換に当たり、建築物の長期使用は、躯体の健全性の確保が前提。このようなことから、「改築、長寿命化改修、中規模改修」については、躯体の健全性の調査(耐力度調査・簡易調査)結果を基に、また、屋根・屋上等の「部位改修」については、躯体以外の劣化状況調査の結果を踏まえて、各施設の整備の方向性を設定します。

(1) 躯体の健全性の調査結果に基づく整備(改築、長寿命化改修、中規模改修)の方向性

建築後50年を経過した建物

耐力度調査で、基準点以下となった場合、近接する50年未満の棟を含めて計画的に改築を検討します。

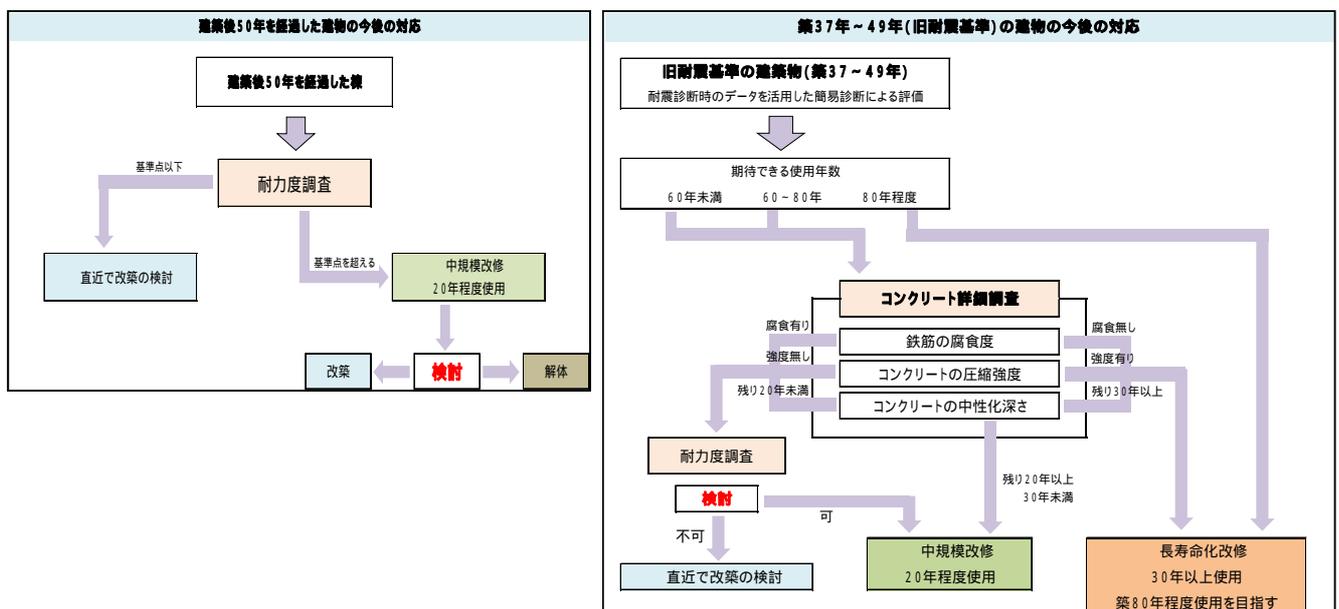
基準点を超える場合は、中規模改修を行い、施設の状況等を見極め、検討します。

建築後37年～49年の建物(旧耐震基準の建築物)

簡易調査で、期待できる使用年数が80年程度(残存耐用年数30年以上)と判定されたものは、長寿命化改修を実施して、更に30年以上使用します。

使用年数が60年未満又は60～80年(残存耐用年数30年未満)と判定されたものは、コンクリート詳細調査を実施します。

その結果、残存耐用年数30年以上の場合は長寿命化改修を実施、残存耐用年数20年～30年の場合は、中規模改修を実施して残り20年程度使用、残存耐用年数が20年未満の場合は、耐力度調査を実施し、改築を検討します。



昭和56年以後の建物(新耐震基準の建築物)

建築後35年～40年を迎えるころに、コンクリート詳細調査を実施し、その結果により、今後検討します。

(2) 躯体以外の劣化状況調査の結果に基づく屋根・屋上等の「部位改修」の方向性

部位別の劣化事象に応じた緊急度から改修時期を設定。ただし、トイレ整備については、施策への対応として実施します。

なお、5年以内又は10年以内の改修が必要な部位の工事(トイレ整備を含む。)は、その改修時期において改築、長寿命化改修又は中規模改修が実施予定の場合は、部位改修は実施しないで、改築、長寿命化改修又は中規模改修において、同時に実施します。

部位	直ちに改修又は5年以内の改修が必要	10年以内の改修が必要	現時点では改修の必要はない
屋上・屋根	D評価 ・雨漏り ・金属屋根の腐食による穴あき・損傷	C評価 ・防水層の破れ、浮き、摩耗等の複合要因による屋上全体の劣化 ・金属屋根材のずれ・剥がれ	B・A評価
外壁	D評価 ・鉄筋の露出、0.2ミリ以上の亀裂、漏水、欠損、浮き等の複合要因による外壁全体の劣化 ・仕上げ材の落下による人体への危険	C評価 ・鉄筋の露出、0.2ミリ以上の亀裂、漏水、欠損、浮き等の複合要因による外壁全体の劣化 ・部分的な鉄筋露出(爆裂)	B・A評価
内部(室内)	・落下による人体への危険	D評価	C・B・A評価
電気設備	・漏電	D評価	C・B・A評価
給排水衛生設備	・漏水 ・防災設備の故障	D評価	C・B・A評価
空調換気設備		D評価	C・B・A評価
その他設備		D評価	C・B・A評価

2 整備コストの設定

長寿命化計画の改築、長寿命化改修、中規模改修、部位改修のコスト算出のため、実施済みの施設整備費等を基に単価を設定します。(今後、過年度平均費用との関係で再調整を実施)

項目		工事内容	数量	単価		
改築	校舎	校舎の建替え(設計・監理含む)	延べ面積	380	千円/m ²	
	屋内運動場	屋内運動場の建替え(設計・監理含む)	延べ面積	380	千円/m ²	
	柔剣道場	武道場の建替え(設計・監理含む)	延べ面積	300	千円/m ²	
長寿命化改修	校舎	内外装、設備機器更新、長寿命化対策(設計・監理・仮設含む)	延べ面積	280	千円/m ²	
	屋内運動場	内外装、設備機器更新、長寿命化対策(設計・監理・仮設含む)	延べ面積	280	千円/m ²	
	柔剣道場	内外装、設備の全面更新、長寿命化対策(設計・監理含む)	延べ面積	200	千円/m ²	
中規模改修	校舎	防水、屋根・外壁塗装、設備機器更新(設計・監理・仮設含む)	延べ面積	260	千円/m ²	
	屋内運動場	防水、屋根・外壁塗装、設備機器更新(設計・監理・仮設含む)	延べ面積	260	千円/m ²	
施策への対応	トイレ整備	屋内トイレの改修(乾式化・洋式化)	改修面積	280	千円/m ²	
		屋外トイレの改修(多目的トイレの整備)	1校	12,500	千円/校	
部位改修	C・D評価改修	屋上防水・屋根	シート防水改修	屋根面積	14 千円/m ²	
			屋根塗装	屋根面積	10 千円/m ²	
		外壁	外壁塗装	延べ面積	17 千円/m ²	
	その他部位改修	建具改修	外部建具の改修	-	350,000	千円/年
		プール改修	プールサイド床、プール槽の改修			
		受水槽等改修	受水槽等の更新			
	LED更新	教室、屋内運動場の照明器具のLED化				
	その他改修	小規模な修繕等				

3 5年間の整備計画と40年間の概算事業費の試算

躯体の健全性・躯体以外の劣化状況調査の結果により設定した各施設の整備の方向性からコストを積み上げ、今後5年間の整備計画の策定と40年間の概算事業費を試算します。

(1) 直近5年間の整備計画

整備内容

今後5年間の整備内容は、右に示すとおりとし、改築事業は、築後50年を経過した棟及び近接する50年未満の棟のうち、耐力度が基準点以下のものとし、長寿命化改修は、40年以上経過した建物のうち、構造躯体の健全性が良好な学校として、残存耐用年数30年以上のもの、中規模改修は、築後50年を経過した棟で、改築事業に該当しない学校とし、施策への対応としては、トイレ改修、非構造部材の改修、その他増改築とし、C・D評価改修は、外壁及び屋根・屋上の劣化状況調査の結果がC・D評価となった棟とし、その他部位改修は、建具改修やプール改修等の部位を改修します。

また、整備年次については、各学校が保有する棟の築年数、躯体以外の劣化状況、他の計画・施策との整合等を考慮して設定します。

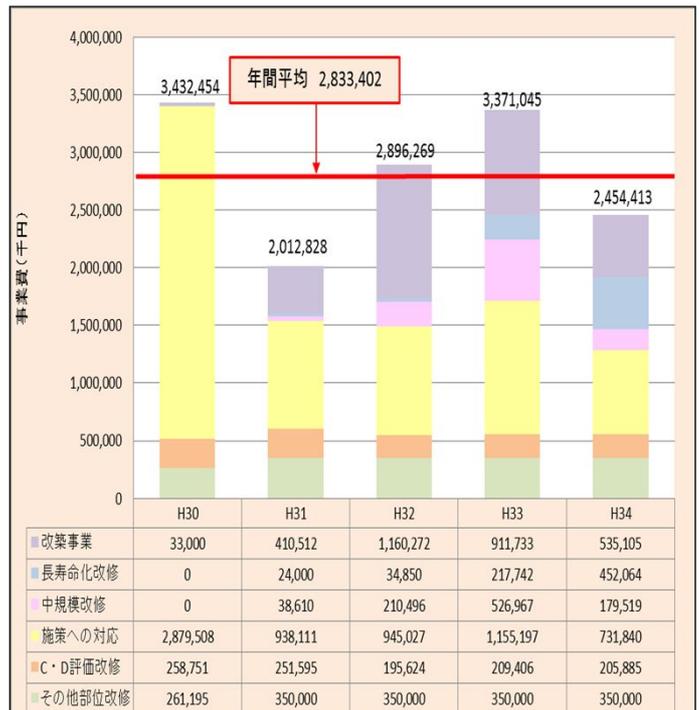
予算配分

計画では、年間の事業費を過去5年間の投資的経費の30.8億円/年*を目途に設定します。

また、財源については、国の補助金や起債など、適切かつ効果的に活用し、財政負担を軽減します。

*耐震・児童生徒急増に伴う増築など施策への対応に係る経費を除く。

整備内容		
改築事業	部分改築（棟単位）	・築後50年以上経過した建物（耐力度調査結果が基準値以下）
長寿命化改修	長寿命化改修工事	・築後40年以上経過した建物
中規模改修	内部改修、外部改修、給排水設備等	・築後50年以上経過した建物（耐力度調査結果が基準値以上）
施策への対応	トイレ改修	年10校程度
	非構造部材	
	その他増改築等	
C・D評価改修	外壁改修 屋上防水	・D評価部位を5年間で解消、C評価部位を10年間で解消
その他部位改修	建具改修 プール改修 受水槽等改修 LED更新 小規模修繕等	



直近5年間の整備計画

(千円)

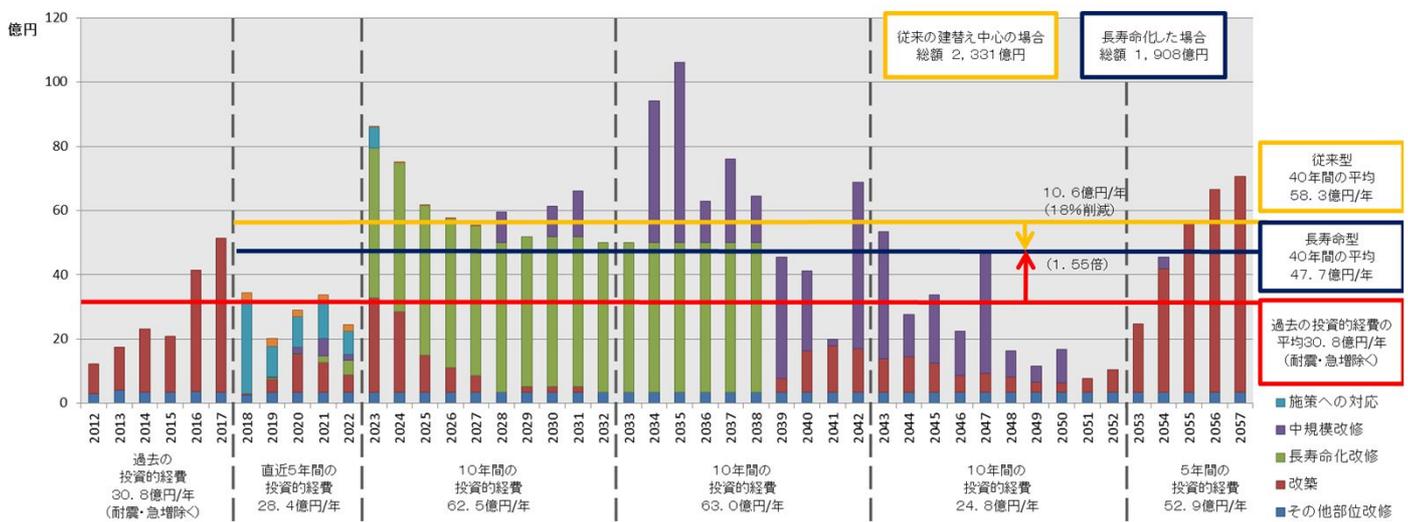
事業名称	年度	2018		2019		2020		2021		2022		
		H30		H31		H32		H33		H34		
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	
改築事業		香東中 [校舎]	33,000		363,164		847,382		137,250			
				香南小 [校舎]	47,348		312,890		730,078		118,250	
								太田小 [校舎]	44,405		293,411	
										玉藻中 [校舎]	123,444	
	合計		33,000		410,512		1,160,272		911,733		535,105	
長寿命化改修						花園小 [校舎]	34,850		193,742		452,064	
				耐力度調査	24,000			耐力度調査	24,000			
	合計		0		24,000		34,850		217,742		452,064	
中規模改修				国分寺中 [校舎]	38,610		197,640		461,160			
						植田小 [校舎]	12,856		65,807		153,550	
	合計		0		38,610		210,496		526,967		179,519	
施策への対応	トイレ整備	屋島小	168,057	川岡小	46,553	下笠居小	75,959	木太南小	149,662	十河小	79,295	
		前田小	142,597	大野小	25,438	仏生山小	120,816	屋島東小	28,056	亀早小	85,347	
		川添小	163,859	植田小	21,337	鬼無小	85,347	牟礼北小	64,820	庵治小	24,316	
		円座小	111,785	東植田小	29,096	木太北部小	85,347	木太小	137,996	牟礼南小	44,179	
		弦打小	109,105	太田南小	133,263	鶴尾小	137,490	古高松小	142,568	中央小	85,347	
		国分寺北部小	89,846	花園小	64,010	檀紙小	76,584	川東小	56,861	屋島西小	173,640	
				川島小	85,347	古高松南小	93,106	香西小	121,231	多肥小	97,977	
		設計・監理	25,586	設計・監理	13,198	設計・監理	21,982	設計・監理	22,849	設計・監理	19,228	
		香東中	127,997	国分寺中	46,470	一宮中	100,687	太田中	134,983	香南中	33,895	
		牟礼中	106,829	桜町中	42,673	勝賀中	94,528	古高松中	141,317	屋島中	42,673	
	香川一中	152,077	庵治中	35,372	下笠居中	46,553	木太中	143,351	鶴尾中	42,673		
	設計・監理	10,577	設計・監理	3,414	設計・監理	6,628	設計・監理	11,503	設計・監理	3,270		
	計		1,207,315		546,171		945,027		1,155,197		731,840	
	非構造部材	香南中(メインテナ)	122,910	協和中(屋体)	41,940							
		勝賀中(校舎)	61,962									
	計		184,872		41,940		0		0		0	
	その他増改築等	多肥小	693,562	多肥小	350,000							
		栗林小	568,130									
		林小	25,272									
		屋島中	200,357									
計		1,487,321		350,000		0		0		0		
合計		2,879,508		938,111		945,027		1,155,197		731,840		
C・D評価改修	屋根・屋上	川東小	20,784	川東小 [屋体]	8,400	大野小 [屋体]	8,001	円座小 [屋体]	8,215	中央小 [屋体]	8,215	
		国分寺南部小	3,149	林小	11,948	川東小	7,424	大野小	9,623	浅野小 [屋体]	7,680	
		木太北部小	10,837	古高松小	10,118	屋島東小	3,053	木太北部小	7,939	国分寺中 [屋体]	10,261	
		木太中	953	勝賀中	9,386	香川第一中	9,566	下笠居小	11,478	龍雲中 [屋体]	10,000	
		浅野小 [屋体]	2,573	龍雲中	10,545	浅野小	10,238					
	計		38,296		50,397		38,282		37,255		36,156	
	外壁	浅野小 [屋体]	29,946	川東小 [屋体]	20,060	大野小 [屋体]	19,040	円座小 [屋体]	20,295	中央小 [屋体]	20,295	
		川東小	27,502	木太小	20,664	木太小	20,664	大野小	19,795	大野小	19,795	
		木太北部小	25,464	浅野小	17,103	浅野小	22,052	木太北部小	22,990	木太北部小	21,164	
		国分寺南部小	32,685	古高松小	28,016	古高松小	22,814	下笠居小	21,530	下笠居小	21,530	
		古高松南小	19,109	木太南小	25,404	川東小	29,953	古高松南小	21,927	川東小	17,232	
		三溪小	13,430	香西小	36,582	屋島東小	6,620	浅野小	19,983	古高松南小	20,966	
		玉藻中	36,927	勝賀中	23,141	香川第一中	19,074	勝賀中	23,141	国分寺中 [屋体]	23,058	
		木太中	31,154	龍雲中	26,235	龍雲中	14,002	香川第一中	19,074	龍雲中 [屋体]	22,270	
		環境測定業務 (フスヘト調査)	4,238	環境測定業務 (フスヘト調査)	3,993	環境測定業務 (フスヘト調査)	3,123	環境測定業務 (フスヘト調査)	3,416	環境測定業務 (フスヘト調査)	3,419	
計			220,455		201,198		157,342		172,151		169,729	
合計		258,751		251,595		195,624		209,406		205,885		
その他部位改修		261,195		350,000		350,000		350,000		350,000		
総合計		3,432,454		2,012,828		2,896,269		3,371,045		2,454,413		

* 本計画は、財政状況、社会情勢の変化等により、変更が生じる場合があります、その場合、5年ごとの見直しにかかわらず、適宜修正します。

(2) 40年間の概算事業費の試算

建物を80年に長寿命化した場合、今後40年間の概算事業費は、総額1,908億円(47.7億円/年)*となり、従来の建替え中心の場合の2,331億円(58.3億円/年)より、424億円(10.6億円/年)、18%の縮減となります。

しかしながら、長寿命化に転換しても、これまでの投資的経費30.8億円/年に比べ1.55倍のコストがかかります。このため、長寿命化だけでは今後の財政に対応できない状況にあります。また、過去一定期間に施設整備が集中したことによる財政負担を軽減させるため、事業費の更なる平準化も課題となっています。

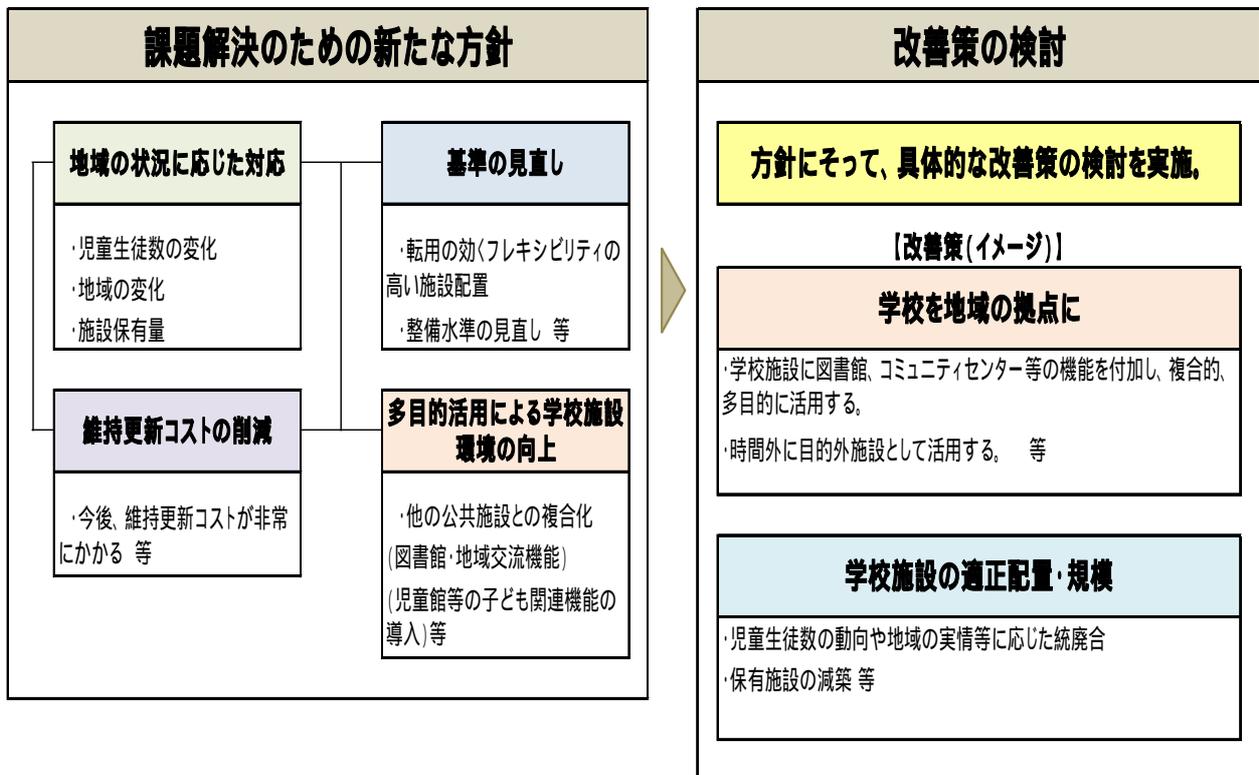


* 本試算は、建物の劣化度等に応じたものであり、公共施設の再編や学校の統廃合などの施策の実施状況によっては変更が生じる場合があります。

4 今後の対応と改善方針

本計画の策定の過程で、長寿命化をしても今後40年間の概算事業費が従来の投資的経費ラインの約1.55倍になることが把握されました。このことから、個々の学校施設の長寿命化は有効であるものの、それだけでは限界があることが明らかとなりました。従来の投資的経費ラインとの乖離を埋めていくことや今後の事業費の平準化を図っていくには、整備コストの縮減に加えて、学校施設の配置や規模、運営面・活用面等に及ぶ多面的な見直しが必要となります。

このようなことから、今後、学校施設の改築、長寿命化改修等の実施に当たっては、下記の方針に基づき、改善策を検討し、その整備を行うものとしします。



5 今後の継続的な運用方針

計画の継続的運用方針		
情報基盤の整備と活用 ・施設の基本情報、工事履歴、劣化情報の一元管理	推進体制の整備 ・教育委員会を中心に全庁体制での対応を図る。	フォローアップ ・総合計画・予算の中で事業費等の精査 ・進捗状況、劣化調査などの結果を反映した本計画の見直し